

算数を身近に感じ、楽しみながら学習する子を育てる授業

神奈川県川崎市立西有馬小学校 教諭 福山 里加

小学校3年 算数 さんすう犬ワン

番組の特徴

算数が得意なワンと交番の仲間が、間違えやすい計算の仕方や数え方で町の人を困らせるカズラーを倒すコメディドラマ。番組視聴を通して学習問題を把握し、算数的活動へと繋げながら問題解決に向かって思考することができる。

研究の概要

番組を活用して、算数を学ぶ意義を楽しみながら実感できる機会をつくり出したいと考えた。番組内のストーリーを日常生活の疑似体験として受け止めることで、日常の出来事を算数と結び付けて意欲的に考える姿が見られた。また、番組と同じ道具を含むヒントコーナーを活用することで、自分に合った解き方を見つけ、全員が考えをもつことができた。同じ番組を見て課題を把握したことで、友達の考えを自分と比べながら聞く態度も見られた。

授業デザイン（1 単位授業時間）

単元：分数

目標：和が1までの、同分母の真分数同士の加法計算のしかたを考える。

番組視聴

第14回 分数のたせる？分数のたし算
(4分32秒～4分56秒)

立式

これまでの復習。番組の内容から立式。

番組視聴

課題把握 (4分56秒～6分49秒)

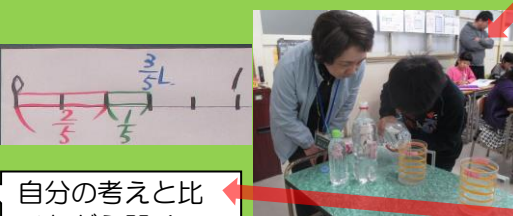
情報整理

番組 Web ページにある場面絵で問題を整理

課題把握

2/5 + 1/5 の計算の仕方を考えよう

自力解決



協働解決

自分の考えと比べながら聞く。

番組視聴

知識の補完

まとめ

(6分49秒～10分)

分数の加法では、分母は変えず分子同士をたす。

番組や関連動画クリップの活用意図

番組活用で課題を解く必要感・意欲が生まれる
日常生活の中で、分数のたし算を扱う使う機会があまりない。そこで、より必要感を伴った分数の足し算を考える学習となるよう番組を活用する。番組を使って課題を把握し、いたずらをしたカズラーの間違いを正して町の人やテンコちゃんを助けたいという思いから、問題を解く必要感が生まれる。また、全員が意欲的に問題の解決方法を考えることができる。

授業デザインにかかわる教師の工夫

自力解決を助けるヒントコーナーの設定

- 番組の再現ができる実物操作（1 L マス）
 - 既習のヒントワークシート（面積図、数直線）
 - これまでの授業内容の掲示物
 - 番組の続き（ヒントシーン）をPCで視聴できる場の設定
- ⇒どの子も学習に参加できる場をつくった。

考えの交流を通して思考を深める場の設定

- ペアで考えを交流する時間
 - クラスで考えを交流する時間
- ⇒考えを整理したり深めたりする時間をつくった。

番組に出てきた間違いを言語化

1 L マス面積図を使い、「なぜ分母同士をたしてはいけないか」を言語化。⇒分数の加法計算の理解へ

生き生きと学ぶ子どもの姿

子どもの授業中の様子から

- ドラマと同じことを再現した場を用意したことで、どの子も楽しんで授業に参加することができていた。
- 全員が同じ番組を見たことで、友達の考え方を聞く意義が生まれ、違う意見にも興味をもって聞いていた。

評価シートから（実践前後で有意差が見られた項目より抜粋）

- 楽しく学習できる。
- 自分の考えを深めることができる。
- 友達と教え合うことができる。

同僚の評価

- 番組を見て課題を設定したことで全ての子が意欲的に解き方を考えていた。教科書の問題ではここまで考え方が出なかった。

実践を終えて＜行動宣言＞

番組を活用することで、ドラマと同じ思考の流れができ、学習する必要感を感じながら楽しく学習することができた。番組と同じ実物を含むヒントコーナーを設けたことで、どの子も解き方を考えることができた。同じ番組を見て課題を把握したことで、友達の考えを自分と比べながら聞き、よりよい考えを求めようとする態度も見られた。今後も番組を活用して、他教科でも授業のユニバーサルデザイン化を目指していきたい。